

ふらっぶ通信

第23号

社会福祉法人
なつな学園
サビスタセンター

頑張ろうぜ！ヘルパー

滝沢 一人

突然ですが、「新はあと ヘルパー」をご存知でしょうか。講談社のコミックスでしてホームヘルパーが主人公のコミックなんだそうです。医者や看護師ものは結構ありますが、ホームヘルパーが主人公というの調べてみると、なんともう一つ「ヘルパーマン」なるものを見つけましたが、これら二つは珍しいと思います。話の中心は介護保険中心なんです。悩みながらも快活に仕事に取り組む若者ヘルパーたち。曲解されてるホームヘルパーの実態、仕事内容や役割について、若い世代に浸透し理解を深めてもらうためにも、馴染みやすいマンガという情報媒体で展開されメジャー化されることに期待を寄せます。

毎年新卒の採用時期になると考えることがあります。ヘルパーと言われる職種への偏見や無理解と言つことです。ホームヘルパーの社会的な重要度、必要度に比べ、報酬も社会的地位も、まだまだ低いといわざるを得ません。介護保険のスタート以来、国は何度も増員

を目指し、様々な優遇措置を行いホームヘルパーの資格取得のためのセミナー受講者数や修了者数は多くな

りました。しかし、実際に職に就く者はいまだ少ないといえます。ヘルパーは持ち腐れ症候群です。あるいは一旦は就労するものの早々に離職してしまう人が多いとも言われます。何故でしょうか。その仕事の内容が過酷であり、報酬が安く、就労環境もよくないという、いわゆる3Kや4Kといわれる状況だからだといわれています。ヘルパーとして就労している方の8割が非常勤職員としてであり、他の福祉関係の職場と大きく異なる点も指摘されます。確かに働く条件として、土曜日曜出勤は当たり前。労働時間帯も早朝から深夜まで。そりやニーズがあるんだから当然なんです。労働条件を重んじる若い人からするとしんどいのもかもしれません。

政府方針でもあまりにも人手が足りないで、東南アジア方面からのホームヘルパー留学生を受け入れると言う指針も出されて久しいです。自分の国を支えるため頑張ってきた人たちを助けなくなつて、自分たちは手を汚したくないと、経済的に厳しい環境の他国の人達にやらせるという超上から

目線がキショクワルクて仕方ありません。かつてのヨーロッパの植民地策みたいじゃないかと思えます？ 自分のお年寄りのお世話は自分たちでしましよと強く思います。

介護保険報酬を新しい市場と見込んで、様々な他業種が参入もしてきました。そうした場所では、応々にしてホームヘルパーは「使い捨て人材」とみなされていると聞きます。また居宅の現場だけではなく、ヘルパーは老人施設でも特殊な位置付けをされているようです。資格の話しで言えば「介護福祉士」との就労条件格差があります。

だが、いわれているようにヘルパーの能力は本当に低いのか。報酬や社会的地位が低いことは、適正なのか。否、決してそうではないと思いたい。以前研修で当事者の方から聞いた言葉が印象に残っています。「ワーカーさんは福祉を持って来てくれる。看護師さんは医療を持って来てくれる。ヘルパーさんは世間の風を運んで来てくれる。」在宅で介護に疲弊している家族を支えることができるのは、ヘルパーしかない。少しでも負担を軽くし、家事を助け、親身に相談にのり、全人格的に、高齢者や障害者、その家族を支えているのは、まぎれもなく名もないホームヘルパーの皆さんです。

誰もが歳をとるし、高齢になればものも忘れる。思うように動けなくもなる。そして自分の事すらわからなくなるかも知れない。みんな自分を通る道です。そうした家庭に笑顔で突入し、黙々と支援をするホームヘルパー以上に、だれを頼れるでしょう。

「福祉ってなんだ？」という根源の問いに、最前線で頑張るふらっぶのヘルパーのみなさんの勇姿が立派に答えているぞって、いつも思います。頑張ろうぜ！ヘルパー！

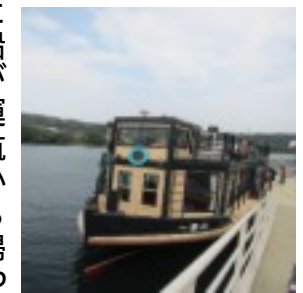
瀬田川リバークルーズ

今年も暑い日が続きますね！こんな暑い日は涼しさを求めて水辺へ。滋賀県の瀬田川リバークルーズへ行ってきました。午前は浜大津で途中下車し、浜大津で昼食をとりました。

この日は太陽も陰り、暑さもあまりなかったため、琵琶湖を見ながら少し休憩

心地よい風を感じたところでもた

電車に乗り今度は石山寺駅へ！駅からののどかさを感じながら川沿いを少し歩けば瀬田川リバークルーズの石山寺港に到着です。



しばらく待つと船が運航から帰ってきました！

この船は「一番丸」といつて明治時代に湖国交通の花形だった蒸気船を復元した外輪汽船です。レトロな感じで外国の方もいらっしやっていました。クルージングは瀬田唐橋や大津プリンスホテルなどを見ながら、約1時間のクルージング。

初めはデッキで外の空気を感じていたのですが、日が照り始めるとやはり暑くて船内に避難しました(笑)釣りのボートやカヌーなどを見たり、専属ガイドさんの歌や案内を聞いたりしているとおつという間に終着港の石山寺駅へ。

琵琶湖一周も良いけれど、たまには周りの川に行ってみるのもいかがでしょうか。意外と楽しく水辺を感じる事ができますよ

リニユールオープン

障害者 スポーツのつどい
今年6月にリニユールオープンした京都府立体育館。
毎月、第2日曜日には、障害者スポーツのつどいが開催されます。

館内ではインストラクターの指導のもと卓球やバスケットボール、バトミントンなどの他に、卓球バレー、車いすバスケット、トランポリンなどの競技を楽しむことができます。

スポーツのつどいは心身障害者のスポーツを振興し、スポーツを通じて心身障害者の健康の増進と豊かな生活の実現をはかることにより、京都における社会福祉の進展に寄与することを目的としています。(京都障害者スポーツ振興会規約より抜粋)

利用時間は午後1時～4時までだれでも参加可能です。なお、館内では上履きが必要となりますのでご注意ください。皆さんもきれいな服装で汗を流してみたいかがでしょうか？



京都おもいやり駐車場利用制



ご存知ですか？

この制度は、障害のある方、高齢者や難病の方、妊産婦や歩がをされた方など歩行が困難な方に利用証を交付し、おもいやり駐車場を利用していただくものです。本場に必要とする方が停められるよう、「おもいやり」の心で、駐車マナーを守りましょう。ところで！この度、ふらっぶに新たに車が入ってきました。

これで事務所の車が2台になりました！「この車が多いに使って皆さんとの楽しい時間を過ごすことができました！」と思っ



福祉ニュース！

差別解消法が成立 障害者権利条約の批准へ

障害を理由に差別することを禁止する障害者差別解消法が19日の参議院本会議で、全会一致で可決、成立

した。18日の参院内閣委員会の付帯決議では、国の基本方針や事業者向けの指針は障害者権利条約と障害者基本法を踏まえて作ることを確認。さらには、障害のある女性や子どもの人権擁護が課題だとも指摘した。2016年度施行の予定。

法制定は、国連の権利条約を批准するための法整備の一環。世界では130カ国余が批准を済ませている。福祉新聞 2013年6月24日号 (2627号)

障害者優先調達推進法が施行されました

平成24年6月27日に公布され、平成25年4月1日より施行されている。本法律では、平成25年4月1日から、国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する、障害者就労施設等の受注の機会を確保するために必要な事項等を定めることにより、障害者就労施設等が供給する物品等に対する需要の増進を図ることとなっている。

引用
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahanukushi/yuusenchoutatsus/

報告

仕事に復帰して数か月が経ちました。変わらず快く迎えてくださった皆様、心より御礼申し上げます。ようやく慣れてきました。毎日仕事と家事をこなすことで精一杯です。お母さん方の苦勞がよくわかり、また、子どもを保育園に預けることで預ける側の気持ちも少しわかるようになりました。育児を自身の成長のステップとして仕事にも活かしていきたいと思えます。しかし余裕がなくただ毎日が過ぎていくのが現状です。それでも精一杯努めますのでよろしくお願ひいたします。

(篠原 朱)

新任職員ご挨拶

はじめまして。六月よりふらっぶのスタッフに加えていただいております。橋元朋子と申します。新入りでありながら、年令はなづな学園、チキンラーメンとも同じです。(相当いっています)

五月末までは看護師として病院で働いておりました。このまま病院の中の世界しか知らないのも残念に思い、人生の後半ではあるけれど福祉の現場をのぞかせていただくと思つたのです。右も左・も上も下もまだ何もわかっていなくて全く動けずの状態ですが、少しずつ理解して行動できるようにしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私たちの子ども頃は、学校でも家でも「人に親切にしましょう」と教えられました。「困っている人がいたら声をかけましょう。」と。しかし今は「知らない人と話をしないように。近寄つて来られたらすぐ逃げるように。」と教えられます。そのような時代であり、事件が多発するようになり仕方のない事情であるのでしよう。

昔はおせっかいさんがあちこちに

居られて、朝は「おはよう」帰ってきたら「おかえり」どこかへ出かけようとすると「今日はどこ行き？」と声をかけてくれました。そんな世間の眼をプライバシーの侵害とか面倒くさく感じながらも自らの行動に慎みや礼節をつけてくれたのかと思えます。世間がどうであれ、周りにうるさがられようとも、私はおせっかいおばさんで居ようと思っております。けれども今、介護支援に関わらせていただくようになり、少し考えが深まりつつあります。ただ関わるというのではなく、その濃さや内容を自分の中で明らかにしつつ、足下をしつかり固定して安定感をもつて、なおかつフットワークを軽く動ける、一ランク上のおせっかいおばさんを目指します。

これからスタッフの皆さんに教えられたつつ、利用者の方たちに学ばせていただきつつ介護支援の実践を積み重ねていきたいです。「人間一生勉強」八十才の師の口癖でした。私もまだこれから学ぶことも成長する事も可能であると信じたいです。何なりとお声をかけてくださればうれしいです。お叱りも励ましのお言葉もお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

(橋元 朋子)



編集後記

暑い日が続きますね。みなさん、夏を楽しまれていますか？
今年には正に「酷暑」。熱中症で倒れる人が続出しているとか。
あまりの暑さに私は涼しさを感じられることを常に探しながら過ごしてまいります。

でもやっぱり暑いことに私はエアコンが苦手。冷えすぎてエアコンがしつかり効いた部屋から出ると「あつたかい」と思ってしまったほど。まだまだ暑い日は続きそうです。みなさんもエアコンの効かせ過ぎには注意してくださいね！
夏バテやクーラー負けしていない元気なみなさんにお会い出来るのを楽しみにしています

G

